

A N A N

発行人●阿南町公民館編集部 編集人●公民館報編集委員会 印刷所●飯田共同印刷株式会社
連絡●〒399-1511 東條58-1 TEL 22-2270 FAX 22-2287
E-mail:kyouiku@town.anan.nagano.jp

Contents	
P1	表紙 遊歩道
P2・3	西尾 實先生 特集
P4	ANAN情報発信局 「防災への備え」
P5	おらほの若い衆、 私の趣味・自慢
P6	あなんトピック、お知らせ、 編集後記



和合の県宝 宮下家住宅にて土雛展示 期間 2/19~3/10まで

遊歩道

今年も元日から能登半島地震でびっくりしました。ひどい被害の様子も毎日報道されています。復興が進まない理由として、山間地の災害特有の困難さがあります。

伊那谷では、享保三年（一七二二）遠山地震の記録が村々に残されています。家屋の倒壊の他に、田畑崩壊、山崩れによる土石流など、死者も含めて大きな被害がありました。

今回の館報に特集がある西尾實の出身地 帯川村は、百五十年後江戸時代が終わるまで、結局地震以前の石高を回復できませんでした。

平成七年（一九九五）阪神淡路大地震の時もびっくりし、何かできればとボランティアに行きました。その後も大きな地震や災害がたびたびある中で、耐震・防災対策は進んでいると安易に考えていましたが、二十九年前の神戸で感じた人間の無力さにまた思いが戻ります。

それでも、復興への努力を続ける人たちの姿も伝えられています。能登の自然も少しずつ春らしくなっていることでしょう。一日でも早く平穏な暮らしが戻ってくるように祈ります。

年表



阿南町唯一の名誉町民

西尾 實 先生

事項

1923	1919	1918	1916	1915	1913	1912	1910	1906	1903	1901	1895	1889	西暦
大正12年	大正8年	大正7年	大正5年	大正4年	大正2年	明治45年	明治43年	明治39年	明治36年	明治34年	明治28年	明治22年	年号
34	30	29	27	26	24	23	21	17	14	12	6		年齢
長野県師範学校（現 信州大学）教授囑託となる。	松本女子師範学校付属 小学校主事となる。	松本女子師範学校教諭となる。	秋から私立淑徳高等女学校に勤務（翌年教諭となる）	東京帝国大学卒業（9月）日本橋区第一実業補習夜学校に勤務 昼は東大図書館・研究室等で国語学・国文学・哲学・宗教学・芸術学・美学等の研究に没頭。	6月 長男 光一誕生・翌3年妻子上京	大下条尋常高等学校訓導となる。（星野ますと結婚）9月に退職をして単身上京する。	東京帝国大学（現 東京大学）文科大学国文選科へ入学する。	飯田尋常高等小学校訓導となる。（森下二郎との出会い）	長野県師範学校入学（同級生に金原省吾・五味義武などがいた。）	和合尋常小学校代用教員となる。（明治38年9月退職）	大下条小学校高等補修科入学する。（2年）明治36年4月卒業	和合尋常小学校帯川分教場入学する。（尋常科4年・尋常補習科2年）	5月14日 豊村帯川（現阿南町）に生まれる。

西尾 實 先生は、中世文学の古典、特に

利休の茶



世阿弥の能



道元の禅



などの中から、人間の生き方・教育の意義や方法を、生涯をかけ探求しました。

先生は、明治22年阿南町和合帯川に生まれ、小学校卒業後教師を志し、長野師範学校（現信州大学教育学部）へ進学しました。



西尾 實 先生

1988	1984	1979	1971	1970	1966	1960	1956	1954	1952	1949	1939	1935	1933	1929	1926	1925			
昭和63年	昭和59年	昭和54年	昭和45年	昭和44年	昭和41年	昭和35年	昭和31年	昭和29年	昭和27年	昭和24年	昭和14年	昭和10年	昭和8年	昭和4年	大正15年	大正14年			
		90	81	81	77	71	67	65	63	60	50	46	44	40	37	36			
西尾實記念館 建設完了	定例教育委員会にて町長より説明。【西尾實記念館建設について】	4月16日 逝去される。10月20日 町葬を執り行う。	阿南町名誉町民となる。(11月に推戴式に出席 最後の旅行となる。)	阿南第一中学校にて【わたしが父から教わったこと】講演会を実施。	妻はるゑ死去(75歳頃から完全に失明。しかし、口述筆記による著述を続ける。)	文学博士の学位を授与される。	緑内障が悪化し、視力が著しく衰える。	日本国語教育学会 初代会長となる。	著書・論文・公演・教科書編纂などの活動続く。	このころから高血圧・視力異常が始まる。	国立国語研究初代所長となる。(以後11年間)	著書【国語教育の新領域】を岩波書店より出版	法政大学文学部講師となる。(昭和21年 教授となる)	東京女子大学教授となる。(以後16年間)	著書【国語国文の教育】(長野県下の国語教育実践指導始まる。)	第二東京私立中学校授業嘱託となる。	百瀬はるゑと再婚。国文学者としての活躍が始まる。	3月 妻ます死去。12月 一男三女を連れて上京	私立成蹊高等女学校専攻科主任となる。

阿南町に残る 西尾 實先生の想い

阿南第一中学校校歌
昭和四十七年二月制定

西尾 実 作詞
山下 宏 作曲
芥川 守志 作曲

一 西さす赤石の山
仰ぎ見よ雄々しき峰を
水清き天竜の川
澄まし膝けしふきの歌を
永遠にそびえつらなり
春秋に流れてやまず
大自然ゆたかに燃ゆる
この里の丘の白亜は
これぞおわれらが母校
阿南一中

二 鳥は鳴き 朝霧はれて
学舎に若人集う
空いっばい歓呼はびき
庭いっばい手の輪はずむ
理想たかく和の輪はずむ
身をきたえ励まん文に
あたらしき明日のわが町
拓きゆく力の基
これぞ おわれらが母校
阿南一中

阿南第一中学校校歌

飯田尋常高等小学校(現追手町小学校)の教壇に立った後、東京帝国大学文学科選科(現東京大学文学部)へ入学し、国文学の研究に励み、各地の中等学校や大学で教鞭をとる傍ら、全国をまわり国語教育の指導にも携わりました。

後年は、国立国語研究所の初代所長・日本国語教育学会初代会長に就き、わが国の国語教育の重鎮として数多くの業績を残しています。



西尾 實 生家



西尾 實 記念館

ANAN情報発信局 「災害への備え」

防災への備え

非常用持ち出し袋

※一部紹介

- 食料・飲料水
ライフラインがなくても食べられるもの
- 懐中電灯 手動ラジオ 充電器
- 着替え 救急セット 洗面道具
- タオル 軍手 ブランケット
- 筆記用具 貴重品 生活用品
- 感染症対策(マスク・石鹸など)

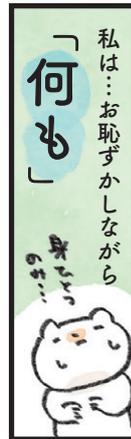
自分の家庭・家族が必要なものも考えて一緒に入れておく
(オムツや生理用品、安心するもの等)



災害の備えチェックリスト



総理官邸 HPより
災害が起こる前に
できること!



家族の安否確認

『171』災害伝言ダイヤル

局番なしで電話をかけると伝言を録音でき 電話番号を知ってる家族などが再生できる サービス

災害用伝言板

携帯電話などからインターネットを使用して 文字情報を登録し、電話番号を指定する家族 などが情報を見られるサービス

事前に家族と確認!!



災害お役立ちサイト



・首相官邸 HP
災害が起きる 前にできること



・東京防災冊子
災害時の ライフハック本

X (Twitter) 公式アカウント

- ・首相官邸(災害・危機管理情報) @Kantei_Saigai
- ・警視庁警備部災害対策課 @MPD_bousai
- ・各自治体や公共アカウントもおすすめてです

元旦の揺れに驚きつつもあれから3ヶ月、未だに被災し生活に戻れない状況に胸が痛みます。

まさか元旦に、という思いですが自然相手、いつ何時被災するか決まっていなものの怖いところです。

なんて恐れつつも心のどこかで「ここは大丈夫」と今の生活を当たり前に、なんの備えもしてなかったのが私なのですが...

阿南町でも防災用品を揃えられるお店もありますし、いつでも持って出られる非常持ち出し袋を作っておこうと思います。

食料にはチョコなど比較的長持ちする甘いものを入れておくといいななど実際のライフハックなど家族に合ったものを考えて。

被災したらみんなが被災者になる。だからこそ、自分も、誰かも助けられるような備えをしていきたいと思います。

絵・文
かなだゆま

おらほの若い衆

57年ぶりラグビー花園出場

飯田OIDE長姫高校2年

大下条 千木

佐々木 大輝さん



友達に誘われて未経験のラグビー部へ。小学生から経験を重ねる部員もいる中、未経験で勇氣もいる事だったはずですが、才能は開花！2年生にして『フランカー』というポジションでスタメン出場。もちろん練習はキツイし怪我也つきもので、細菌感染で入院した事もあったそうです。でも苦楽を共にする仲間・先輩に恵まれ、毎日が楽しくて仕方なく、ラグビー中心に

第103回 全国高校ラグビー大会にて

令和5年12月28日(木)に開催された長野県代表の飯田OIDE長姫高校の有志が以下の二次元コードよりご覧いただけます。



明け暮れる毎日だそうです。週一のオフは、図書館で小説を読む事が好き。そんな青春真つただ中の一面も持っている大輝君です。ただ唯一辛いところが：体を大きくする為、食事が半端なく何より苦しいらしいです。

最後に目標を力強く語ってくれました。「今年も県代表として必ず花園に出場を果たします」熱く語るその瞳は一点の曇りもなく、自信に満ち、目標達成を予感させてくれました。凄いよ大輝君ガンバレ!!

私の趣味・自慢

富草駐在所

原澤 はらさわ

智洋 ともひろ さん



結婚し初めての駐在所赴任で富草に来て3年。地域の防犯・安全を守るため日々精力的に巡回され、富草の顔となりつつある原澤さんの毎月出される駐在所便りにはコアなファンがいるとか。

名前と顔を覚えていただきいつでも駆けつけられるよう、顔写真と共に「駐在独り言」と趣味の短歌で親しみやすいお便りに。母方の祖母が新聞によく投稿していた短歌にイン

スパイアされ、朝晩出会う子供たちの楽しそうな姿や道端に力強く咲く草花など、本来不要な季語も入れ込むことでより地域の季節の変化を身近に感じてもらえたらとの思い、そしてその短歌に喰いつくファンに内容を尋ねられることもまた喜びなのとか。

もともと民間企業の営業職から警察官に転身という経歴の持ち主。交番勤務やパトカー乗務勤務を経て、初の駐在所勤務を天職と感じている原澤さんは、「なお、月1の駐在所便りには県警から皆様にお知らせしたい情報が一面に載っておりますので、独り言と短歌以外もしっかり目を通していただければ幸いです。」と笑います。

令和6年2月号

駐在所便り 11広域 十三第

サイバーセキュリティを知ってください!

防犯機能付き電話、留守電話機能で、郷土富草からSTOP!詐欺被害

今月の富草駐在独り言

富草駐在所 原澤 智洋

あなんナビック

令和5年度

藤本四八記念

小中高校生写真賞

兄弟で入賞!

飯田下伊那地域の小中高中生を対象とした写真の公募展「藤本四八記念小中高校生写真賞」が行われ、

中学生の部 水谷章人特別賞
阿南第一中学校1年

勝又 大耀さん(大下条 大那木)

小学生の部 飯田美術館長賞
大下条小学校4年

勝又 康耀さん(大下条 大那木)

が入賞をしました。
作品は、3月9日(土)～3月24日(日)まで、飯田美術博物館ロビーにて展示が行われています。

小中高校生写真賞表彰式



(大耀さん) (康耀さん)

阿南剣道クラブ

「中授業にて剣道を指導!」

令和6年1月に行った、阿南第一中学校での武道授業において、指導者として「阿南剣道クラブ」の方々が仕事等の合間をぬいながら、生徒へ指導を行いました。



指導の様子

阿南町公式YouTube

「阿南町子育て支援講座」

「民俗芸能・文化財」配信中



町公式YouTubeに行っている「阿南町子育て支援講座」について、現在多様なお子様に対応した内容で配信中です。また、阿南町の「民俗芸能・文化財」についても配信を行っています。ぜひご覧ください。

おしらせ

3月16日(土)

主催 阿南町公民館

歴史を語り継ぐ座談会

会場 農村文化伝承センター

貴重な、文化財が残る阿南町で伝承・継承について考える機会の場として実施します。町文化財審議員さんよりお話をいただき地域のことに ついて参加者の方々と深掘りしていこうという企画。

参加申込につきましては、Googleフォームまたは、☎22270阿南町公民館事務局までご連絡をお願いします。

座談会申込 Googleフォーム



3月28日(木)

主催 阿南町公民館

狩野泰一

「鳥笛ワークショップ」

会場 阿南文化会館

プロの篠笛奏者による、鳥笛のワークショップがみんなで作って、会場に響かせてみましょう!

先着 子ども30人 大人10人

参加申込につきましては、Googleフォームまたは、☎22270阿南町公民館事務局までご連絡をお願いします。

ワークショップ申込 Googleフォーム



編集後記

令和6年1月1日午後4時10分頃、地震大国日本で「令和6年能登半島地震」が発生しました。震度7のこの地震により多くの方が被災し、避難生活を余儀なくされ、甚大な被害を受けた被災地に対し胸が痛みます。能登半島地震で、犠牲になられた多くの方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、一刻も早い復興を願うばかりです。

平成19年3月25日発生の「能登半島沖地震」で被害を受け14年の歳月をかけ3年前に完全復興を宣言しました。「復興のシンボル」であった大本山 総持寺を2年程前に訪れる機会がありました。立派に修復された寺院・回廊を観てきました。今回の地震ですべてが、無残に押しつぶされた映像をテレビで見ました。元の姿への復興は前回の地震の時とは違い、長い年月が掛かるのではないかと思います。前回の公民館報247号で、二科展に入選された小林まるさんの紹介を行いました。阿南町公民館では今年度新しく、創作活動に励んでいる方々の作品を提供いただき、一同に展示する「ANANアートギャラリー」を2月27日(火)～3月3日(日)まで行っております。来年度も実施を予定しております。その際は、少しでも多くの方の作品が展示できればと思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。

阿南町公民館館長 村松 幸廣